

寒地ITSワークショップ



■日時／平成16年8月30日(月)
■会場／北海道開発土木研究所1階講堂

基調講演 「北海道ITSの今後の展望と期待」
北海道大学大学院情報科学研究科教授
山本 強 氏

話題提供 「セカンドステージのITSの方向性について」
北海道開発局 建設部 道路計画課 道路調査専門官
坂 憲 浩 氏

第1セッション
「地域で広がりを見せるITS【サービス面からの紹介】」

第2セッション
「進展するITS技術とその活用【技術面からの紹介】」

北海道大学大学院 情報工学科教授の 山本 強 氏が「北海道ITSの今後の展望と期待」と題して、2005年に世界最先端のIT国家を目指す国の重点計画に従い近年急速に進められているIT国家への進化、また数々の先進技術について述べ、その先に広がるIT社会の未来像について講演を行いました。

その中で、地域性を出したITSとの観点から北海道独

独立行政法人北海道開発土木研究所及び北海道ITS推進フォーラムの主催により、「第6回寒地ITSワークショップ（兼第3回寒地道路連続セミナー）」が開催されました。

自の 1.元気 2.安心 3.感動 4.便利 をキーワードとしたITS戦略の必要性について熱弁を振るいました。

北海道開発局 道路計画課道路調査専門官の 坂 憲浩氏より「セカンドステージのITSの方向性について」と題して、1999年6月の“スマートウェイ推進会議”に基づいて2004年8月に提言発表された、“セカンドステージのITS”について国家戦略の紹介と2007年を目指した本格的な“ITS社会”の様々なサービスシーンを紹介し、それに対する北海道の現状について述べました。

さらに、第1セッション「地域で広がりを見せるITS【サービス面からの紹介】」では、行政や研究機関で取り組まれている事例4件が紹介されました。

また、第2セッション「進展するITS技術とその活用【技術面からの紹介】」では、民間で取り組まれている事例3件が紹介されました。

民間側からの紹介に会場の参加者の中には、メモを取る姿もみられました。

寒地道路連続セミナーは、寒地道路に関する様々な課題について行政やコンサルタントの専門家や技術者、また大学や他研究機関の方々との情報交換及び意見交換の場として開催するもので、今回は3回目の開催となります。

今回のワークショップには全道の道路管理者、コンサルタント等から約100名の参加がありました。